

2020年1月6日

会員各位

公益社団法人 日本眼科医会

### 2019（令和元）年 台風19号の被害について（報告）

台風19号により、被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますように、祈念しております。

本会として、日本眼科学会と連携し、眼科関連団体に協力をいただいで被災地と直接連絡を取り合い、情報の入手に努めておりました。状況を、各県眼科医会からお聞きした内容をもとに下記のように報告させていただきます。

#### ■2019年10月11日

白根会長から都道府県眼科医会会長に被害状況について情報収集の依頼を行う。

#### ■2019年10月11日

関係団体に情報収集の依頼を行う。

- ・日本眼科学会
- ・日本眼科医療機器協会
- ・日本眼科用剤協会
- ・日本コンタクトレンズ協会
- ・日本視能訓練士協会

#### ◎2019年10月12～13日

台風19号が東海・関東地区に上陸し、東北地区を通過して甚大な被害が生じた。

#### ■2019年10月14日

「視覚障がい者の災害に備えた連絡会議」のメーリングリストに情報収集の依頼を行なう。

#### ■2019年10月15日

用剤メーカー様から役員が聞いた話。

今のところ、宮城県内で浸水等被害にあわれた得意先様はないよう。

宮城県では、丸森町がかなり被災しているようですが、隣接の角田市、福島県の相馬市などの得意先様は大丈夫のようです。

福島県では、本宮市の得意先様で、浸水被害があるようです。

■2019年10月15日

東北地方の情報です。東北ブロック災害対策委員会（今夏新設）からの情報です。

山形、秋田はおそらく被害なし宮城、福島、青森、岩手は調査中。

断片的な情報としては

・福島県いわき市・木村眼科が床上浸水するも、連休中に清掃を終えて本日から診療開始とのこと。

・宮城県で被災がひどかった丸森町と大郷町には眼科医療機関なし。現在宮城県医師会と連携開始したところ。

・東北大病院は病棟の1階が浸水しエレベーターが使用できなくなっているようですが、外来棟が大丈夫なのでなんとかなっているようです。

■2019年10月16日

CL協会から情報いただきました。

①栃木県

青木眼科（青木CL）

オペ室の浸水のため、オペのみお休み。

診察は行っており、コンタクト診療に影響は出ていないとのこと。

②栃木県

大野眼科クリニック（大野CL研究所）

床上浸水、近くを流れる秋川が決壊し、床上浸水。

できる範囲で診療しているがトリアルレンズ等も全てダメになったとのこと。

■2019年10月16日

宮城県眼科医会からビジョンバン使用についての問い合わせがありました。当日の役員会で決定後、改めて依頼が届く予定です。

・日時：10/19土曜日午後 or 10/22火曜日（祝日）

・場所：丸森 or 大郷（いずれも河川の氾濫があった地域です）

でビジョンバンを使用した、眼科災害医療を予定されているとのことです。

■2019年10月16日

白根会長から日眼：寺崎理事長に災害対策本部立ち上げの要請を行い、同意いただきました。

■2019年10月17日

白根会長が「日本眼科災害対策本部の立ち上げ」を関係5団体と本会役員に向けて宣言。

■2019年10月17日

福島県眼科医会 土屋会長からです

- 1.本宮市池田眼科医院様（1F浸水、休診）
- 2.郡山市星総合病院様（1F浸水、眼科は2Fのため被害なし）
- 3.いわき市木村眼科クリニック様（床上浸水+断水、診療可）
- 4.いわき市西山眼科医院様（断水、診療可）
- 5.いわき市自由ヶ丘さとうクリニック眼科様（断水、診療可）

1の池田先生は、川の氾濫で、胸までの高さの浸水被害を受け、診療所とともにご自宅も使用不能だそうです。

県眼医としては断水の先生方にはミネラルウォーターを発送し、池田先生については建物の回復が進んだ後に何らかの支援をする予定です。

■2019年10月17日

栃木県眼科医会 吉澤会長から眼科施設の被害状況を報告いただきました。

（会員各位からのFAX返信）

床上浸水 2件

床下浸水 1件

（その他 雨漏り2件）

■2019年10月17日

茨城県眼科医会 伊藤会長より、茨城県では被害はなかったとの報告をいただきました。

■2019年10月17日

宮城県眼科医会 岡部会長から、「眼科医会会員の先生の被害は、ございませんでした。

一方、県内では、浸水被害も甚大にて、避難所生活の方も多く、ビジョンバンを活用し、活動したいと思っております

との報告をいただく。

■2019年10月17日

宮城県眼科医会 安井副会長より、10/19の大郷町へのビジョンバン支援へ向けて準備をして参りましたが、先方より現在は受け入れ困難とのお返事がありましたので、いったん中止させていただきますとの連絡がありました。宮城県内で、これ以外の地区でのニーズを確認中とのことです。

■2019年10月18日

群馬県眼科医会 丸山会長より、眼科医療機関に関して、特に被害はないようです。

■2019年10月18日

日本視能訓練士協会より報告いただきました。(眼科医療機関の被災状況のみ)

勤務先：星総合病院 眼科 水害あり

施設床上浸水にて放射線科全停止

診療 間引き診療

急患受け入れ中止

予定手術以外対応不可

■2019年10月18日

宮城県眼科医会 安井副会長より、ビジョンバンの要請がありました。それに向けて準備が始まっております。

・日時：10/22 火曜日 祝日 10-13時予定

・場所：宮城県大崎市 大崎市立鹿島台第二小学校（閉校になった小学校）

■2019年10月19日

日本視能訓練士協会 南雲会長から、宮城県大崎市へのビジョンバン派遣について、宮城県眼科医会 安井副会長と当会の安達理事（宮城視能訓練士会）で調整し視能訓練士3名派遣することになりましたとの報告をいただきました。

■2019年10月22日

宮城県眼科医会 安井副会長より、ビジョンバンによる支援活動を行ったとの報告をいただいた。

・日時：10/22 火曜日 祝日 10-13時

・場所：宮城県大崎市 大崎市立鹿島台第二小学校

・参加医師：宮城県眼科医会：加藤・安井両副会長、板橋常任理事、東北大学 中沢教授（支援のご協力）

・日本視能訓練士協会：視能訓練士3名

・日本眼科用剤協会：受付事務3名、物資（点眼薬等）

・日本コンタクトレンズ協会：物資（1日使い捨てコンタクトレンズ、消毒液等）

■2019年10月23日

岩手県宮古市のさかもと眼科クリニックでは、床上浸水20cm、エレベーター、スリットランプ、外来処置ベットが使用不能となる被害が届けられております。

また、その他4件駐車場などの被害がありました。診察には特に影響なしとのこと。さかもと眼科クリニックでも、現在は復旧済です。

■2019年10月26日

茨城県眼科医会伊藤睦子会長から、昨日10月25日の大雨での眼科の被災はなかったとの報告をいただきました。



中間報告（11月5日現在）

・福島県

1. 本宮市池田眼科医院様（1F 浸水、休診）
2. 郡山市星総合病院様（1F 浸水、眼科は2Fのため被害なし）
3. いわき市木村眼科クリニック様（床上浸水+断水、診療可）
4. いわき市西山眼科医院様（断水、診療可）
5. いわき市自由ヶ丘さとうクリニック眼科様（断水、診療可）

・岩手県

1. さかもと眼科 床上浸水 診療等は再開済

・栃木県

1. 大野眼科クリニック

今回の秋山川決壊にて外側80cm 床上55cmの浸水被害を受けました。

床全面と駐車場にドロの堆積 ニッデックOCT、ツァイスレーザー、スライドテーブル等も稼働不能となりました。壁や床、待合室のソファ等も破損し、張替えや新規調達品も多数あり、甚大な被害を受けました。

2. 青木眼科医院

「手術室 一部床上浸水 正面 風除室一部浸水」※手術は次週以降に延期

3. さくら眼科クリニック「床下浸水」

・千葉県

1. 千葉県茂原市“あぜがみ眼科”ですが

10月25日の豪雨の影響で、床上浸水となり、10月26日より11月5日まで休診となったようです。11月6日より診療開始と聞いております。

他の施設には大きな被害はなかったようです。

・青森県 被害なし

- ・秋田県 被害なし
- ・山形県 被害なし
- ・宮城県 被害なし
- ・茨木県 被害なし
- ・群馬県 被害なし
- ・長野県 被害なし



最終報告（12月27日現在）

・福島県および栃木県の一部の施設においても診療を再開し、すべての眼科診療所は診療を行っているとの報告をいただきました。

以上